

(別紙 1)

領収書添付一覽

会派名

代表者名・議員名

石塘久次

[illegible]

(別紙2)

領収書等添付用紙

会派名

代表者名・議員名 石崎久次

整理番号	1	支出年月日	R5.7.7
費目	研修費	金額	3,000
領収書・その他証拠書類 添付欄			
領収書 石崎 久次 様 ★ ￥3,000- 但し、愛媛平成市議の会 第47回研修会費として 2023年7月7日 上記の金額、正に領収致しました 愛媛平成市議の会 会長 松山市南吉田町1154-19 事務局 愛媛平成市議の会 印			
事業名、使途及び内容			
		愛媛平成市議の会 第47回研修会費	
備考			

1 (別紙3)

調査活動報告書

会派名

代表者名・議員名 石所久次

年月日	R. 5. 7. 7			
視察・研修場所	正テレビ 夜ウバヨ			
参加者氏名	石所久次			
目的内容等	本市における議会改革の歩み、他市の情報交換			
上記活動に 要した経費	区間	交通機関・施設	積算	金額(円)
	八幡浜～松山 (往復)	JR 鉄道賃 (乗車料)	1,430 円×2	2,860
	〃	JR 特急料	1,200 円×2	2,400
	JR 松山駅～道後温泉駅 (往復)	市内電車	180 円×2	360
合計			5,620 円	
備考	・鉄道賃、航空賃、車賃の算定基準は、「八幡浜市職員の旅費に関する条例(以下「旅費条例」という。)」に準じています。			

※調査研究報告書(別紙4)を添付して提出すること

(別紙4)

令和 5 年 調査研究報告書

会派（議員）名	石崎 久次	会派代表者名	
事業名	八幡浜市議の会 第47回研修会		
事業区分	①調査	②研修	

1. 八幡浜市での課題と調査、研修の目的

・マニフェストに基づく議会改革の進め方

2. 実施概要

実施日時	視察先	担当部局
R.5.7.7	ホテル 花やづき	
報告内容（感想、市政への活用等）		
北川 正恭氏の講演も聞き、 ・地方自治を造る地方の決める事。大切と ・地方から現地の事も聞き、吸い上げ、国と変えてゆく ・議会も積極的に議案を採決し、条例も制定してゆく ・市民に対し、議会報告会も行なゆく		

※視察先の写真を添付すること

會員 各位

会長 大野 立志

■ その他 問合せ先 事務局 : 松山市議会

北川 正恭 (早稲田大学 名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問)

- 1944年(昭和19年) 11月 11日 生まれ
- 1967年(昭和42年) 3月 早稲田大学卒業
- 1972年(昭和47年) 12月 三重県議会議員当選(3期連続)
- 1983年(昭和58年) 12月 衆議院議員当選(4期連続)
- 1995年(平成7年) 4月 三重県知事当選(2期連続)
- 1996年(平成8年) 「事務事業評価システム」を導入
- 1997年(平成9年) 「三重のくにつくり宣言」発表
- 1999年(平成11年) 4月 三重県知事再選
- 2002年(平成14年) 「政策推進システム」を導入
- 2003年(平成15年) 4月 20日 三重県知事退任
- 2003年(平成15年) 4月 21日 早稲田大学大学院公共経営研究科教授 就任
- 2003年(平成15年) 7月 4日 「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調) 代表
- 2003年(平成15年) 2003 日本新語・流行語大賞 受賞語『マニフェスト』
- 2004年(平成16年) 4月 1日 早稲田大学マニフェスト研究所設立・就任
- 2004年(平成16年) 9月 8日 第1回ローカル・マニフェスト検証大会主催 「知事5名のマニフェストを検証。公約を評価するサイクルの確立」
- 2004年(平成16年) 11月 27日 ローカル・マニフェスト推進大会を主催 「市長・区長のマニフェストを検証」
- 2005年(平成17年) 2月 4日 ローカル・マニフェスト推進ネットワーク立ち上げ・代表就任
- 2006年(平成18年) 11月 10日 第1回マニフェスト大賞・地方議員の政策コンテスト開催
- 2007年(平成19年) 11月 9日 第2回マニフェスト大賞(首長・地方議員)開催
- 2008年(平成20年) 3月 3日 「地域・生活者起点で日本を洗濯(選択)する国民連合(略称:せんたく)の代表就任。(2009年9月活動終了)
- 2009年(平成21年) 12月 地域主権戦略会議 構成員(2013年3月終了)
- 2011年(平成23年) 相馬市復興会議 顧問
- 2013年(平成25年) 長野県政策研究所 チーフアドバイザー 新潟州構想検討推進会議 顧問
- 2015年(平成27年) 4月 早稲田大学 名誉教授



1944年生まれ。1967年早稲田大学第一商学部卒業。1972年三重県議会議員当選(3期連続)、1983年衆議院議員当選(4期連続)。1995年、三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003年4月に退任。2003年4月より早稲田大学政治経済学術院教授。2015年3月に退任。現在、早稲田大学名誉教授、同マニフェスト研究所顧問。「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)共同代表。2009年地域主権戦略会議構成員。2011年より相馬市復興会議顧問。2013年より長野県政策研究所チーフアドバイザー、新潟州構想検討推進会議顧問。

著書・生活者起点の「行政革命」 著者 北川正恭 / 出版(桐ぎょうせい)

・マニフェスト革命～自立した地方政府をつくるために～ 著者 北川正恭 / 出版(桐ぎょうせい:平成18年11月)

・マニフェスト進化論 著書 北川正恭 / 出版(生産性出版)(平成19年1月)

早稲田大学マニフェスト研究所 <http://www.maniken.jp/>

北川正恭オフィシャルウェブサイト <http://www.office-kitagawa.jp>

令和5年度総会・第47回松山市研修会プログラム(令和5年7月7日～8日)

月日	時間	内容		司会者及び発表者等
7月7日	11:30～13:00	役員引き継ぎ(会長・副会長・監査・事務局・地元幹事)		
	13:00～13:30	受付・会計	松山市議会・事務局	責任者 本田 精志(松山市議会)
	13:30～14:10	総会	進行	事務局 角田 敏郎(松山市議会)
		総会 開会の辞	副会長挨拶	川口 晴代(宇和島市議会)
		主催者挨拶	会長挨拶	大野 立志(大洲市議会)
		来賓挨拶	松山市長・市議会議長	野志克仁市長・清水宣郎議長
			総会 議長(会長)	大野 立志(大洲市議会)
			活動・会計報告・規約修正	事務局 角田 敏郎(松山市議会)
			監査報告	行元 博(西条市議会) 西山 一規(八幡浜市議会)
			役員改選提案	事務局 角田 敏郎(松山市議会)
			退任役員代表挨拶・新三役員紹介	旧 大野 立志 会長 新 会長
		総会 閉会の辞	副会長	新(市議会)
	14:10～14:20	休憩	研修テーマ 議会改革	司会: (市議会)
		研修会	会長挨拶	(市議会)
	14:20～15:30	基調講演	講演テーマ 「議会改革」	早稲田大学マニフェスト研究所 北川 正恭 教授
	15:40～16:40	各市事例発表	議会改革について	①西条市 ②東温市 ③八幡浜市
	16:40～	閉会の辞	副会長	(市議会)
		事務連絡	事務局	(市議会)
		写真撮影		松山市議会
	17:30～19:30	懇親会		司会: (市議会)
			開会挨拶 会長	(市議会)
			来賓挨拶 市長	野志克仁(松山市長)
			乾杯 副会長	(市議会)
			新役員紹介	(市議会)
			閉会挨拶 副会長	(市議会)
7月8日	9:30～	視 察	①道後温泉第2分湯場	
	10:00～	視 察	②本館又新殿(ゆうしんでん)	
	11:30解散	解 散	③道後温泉飛鳥の湯	
研修、懇親会、宿泊会場：ホテル花ゆづき(松山市道後湯月町4-16 089-943-3333)				

八幡浜市議会 議会改革事例

西山かずのり

① 議会基本条例

平成 25 年 3 月 議会改革特別委員会より提出、全会一致で可決。

② 一般質問 総括質問に加え、一問一答との選択可能へ
上記特別委員会で検討後、一問一答方式を導入

③ 会派制の導入

平成 28 年 6 月より（それまで無かった）現在の会派数 1

④ 議会動画のネット配信

平成 29 年 6 月より、CATV 放送と同内容を、YouTube でも配信（期間は 1 年間）

⑤ 議場への日の丸、市章の掲揚

令和元年、石崎議長の提案により掲揚開始（それまで無かった）

⑥ 政務活動費の導入

令和 3 年 4 月より（それまで無かった）

⑦ タブレットの導入

令和 3 年 9 月の改選後より iPad をリースにて、一人一台、議員と事務局に配布

今後の改革 （西山の勝手な妄想）